

山口県立総合医療センター

救急科 専門研修プログラム



つむぐ、
つながら、
つよくなる。

Emergency
Department

Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center

未来は現在からつくられる、想いを「つむぐ、つながる、つよくなる」

INTRO はじめに

救急医療では医学的緊急性への対応が重要であります。しかし、救急患者が生じた段階では緊急性や罹患臓器は不明なため、いずれの緊急性にも対応できる救急科専門医が必要になります。救急科専門医は救急搬送患者を中心に診療を行い、疾病、外傷、中毒など原因や罹患臓器の種類に関わらず、すべての緊急病態に対応することができます。国民にとってこのような能力をそなえた医師の存在が重要になります。本研修プログラムの目的は、「国民に良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。

ABOUT 当院救急科・救命救急センターの紹介

当院は、三次救命救急センターとして各診療科の協力のもとに、ICU 12床・HCU6床で運営しています。現在、年間救急入院患者数は約3,200人で、内訳の上位3疾患は、外因性傷病（外傷、急性中毒、熱傷など）、心血管疾患、脳神経疾患となっています。人工呼吸療法、血液浄化療法、体温管理療法などの集中治療が必要な場合、救急科専門医がサポートしています。外因性傷病の他にも多臓器不全、特殊感染症、蘇生後脳症など救急科が主治医となって診療する場合と、他科が主治医の患者を積極的にサポートする両方の役目を救急科の医師は担っています。外傷患者では整形外科・形成外科・脳神経外科・外科・心臓血管外科、急性中毒患者では神経科、熱傷では形成外科など、他科の診療協力を得て救命救急センターの円滑な運営が行われています。また、空床の確保のため防府・山口市あるいは県内の病院と綿密に連携しています。

PROGRAM 当院のプログラム

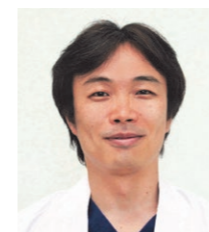
- 1年目** 山口県立総合医療センター（基幹研修施設救命救急センター）で12か月間、救急当番（日勤または夜勤）や重症患者を担当し、救急患者の診断と治療、家族への説明、他科との連携を学びます。
- 2年目** 山口県立総合医療センター（基幹研修施設救命救急センター）で12か月間、または連携病院で6～12か月間研修し、救急・集中治療の実績をつみます。
- 3年目** 山口県立総合医療センター（基幹研修施設救命救急センター）で12か月間、または連携病院で6～12か月間研修し、さらなる救急・集中治療の研鑽をつみます。

研修プログラム（一例）

1年目	2年目	3年目
・基幹病院(当院)	・基幹病院(当院)	・基幹病院(当院)
・基幹病院(当院)	・連携病院 山口大学医学部 附属病院	・基幹病院(当院)
・基幹病院(当院)	・基幹病院(当院)	・連携病院 徳山中央病院

STAFF スタッフ

◎プログラム統括責任者



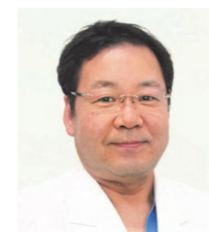
救急科部長・救命救急センター長

本田 真広

Masahiro Honda

日本救急医学会指導医・専門医
日本外科学会専門医
日本DMAT隊員

◎指導医



救急科診療部長

井上 健

Takeshi Inoue

日本救急医学会指導医・専門医
日本DMAT隊員



救急科部長

岡村 宏

Hiroshi Okamura

日本救急医学会専門医
日本循環器学会専門医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本DMAT隊員
死体解剖資格

診療実績 (2021年)

〈人数〉

疾病名	患者数	退院・転院	死亡
病院外心肺停止	127	4	123
重症急性冠症候群	93	88	5
重症大動脈疾患	37	28	9
重症脳血管障害	58	49	9
重症外傷	48	40	8
指肢切断	1	1	0
重症熱傷	1	0	1
重症急性中毒	3	3	0
重症消化管出血	59	53	6
敗血症	45	38	7
重症体温異常	6	4	2
特殊感染症	0	0	0
重症呼吸不全	13	11	2
重症急性心不全	48	44	4
重症出血性ショック	6	5	1
重症意識障害	5	4	1
重篤な肝不全	0	0	0
重篤な急性腎不全	4	4	0
その他の重症病態	1	1	0
合計	555	377	178



院長ごあいさつ

当院の使命は高度急性期病院としての機能に加え、基幹災害拠点病院、へき地医療拠点病院、地域医療支援病院および地域がん診療連携拠点病院など、小児から高齢者に至る幅広い年齢層の患者さんの命を救うべき病院として機能することです。

少子高齢化社会に加え、人生100年の時代に突入してきました。100年の時間をどのようにデザインしていくか、「健康長寿」を目指したその医療提供体制の在り方が問われています。良質な医療を提供するためには、人材育成の観点から医療人がより働きやすい、活力が生まれる職場環境の見直し・整備が今の時代には不可欠です。ITを利活用し、時代の潮流に沿った在宅医療の推進に向けた病病連携や病診連携も積極的に推進していき

ます。山口県民の皆さまが安心できる医療提供体制作りにも多角的視点から取り組んできたいと思っています。

今後とも、当院の基本理念である「県民の健康と生命を守るために満足度の高い医療を提供する」ことに向かって、県民の中核医療機関として恥じないよう、職員一同、一致協力して精進していく所存でありますので、県民の皆さまのより一層のご理解とご支援の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

地方独立行政法人山口県立病院機構
山口県立総合医療センター

院長 武藤 正彦



基本理念

県民の健康と生命を守るために
満足度の高い医療を提供する。

目標

- ◎患者本位の医療
- ◎親切な医療
- ◎良質な医療
- ◎信頼される医療
- ◎地域に開かれた医療を提供し、県民の健康に資する。

基本方針

医学・医術の進歩、疾病構造の変化、医療領域の拡大、医療の情報化に対応できる基幹病院として、県内の医療機関との機能分担と連携を図るとともに、県民の健康と生命を守るために良質で満足度の高い医療を効率的に提供し、県民の福祉の増進に寄与する。

- 1 救急・周産期・がん・へき地医療など高度専門・特殊医療等の推進
- 2 災害時医療及び感染症対策への積極的な取組
- 3 本県の医療水準維持・向上のための支援機能の充実
- 4 医療の安全性の確保と患者サービスの充実
- 5 経営健全化のための一層の取組

診療科目

- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 腎臓内科
- 糖尿病・内分泌内科
- 血液内科
- 小児科
- 小児科(新生児)
- 外科
- 呼吸器外科
- 消化器外科
- 乳腺外科
- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 頭頸部外科
- 心臓血管外科
- 小児外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 婦人科(生殖医療)
- 遺伝診療科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 精神科
- 救急科
- 麻酔科
- 歯科
- 歯科口腔外科
- 病理診断科

病床数

504床(一般病床490床・感染症病床14床)

